

【可搬式浄水装置使用にあたっての留意点】

(1) 可搬式浄水装置の使用条件

<必須条件>

- ◆ 原水の確保 ※海水以外を利用する場合は要相談
1号機:167m³/日 2号機:173m³/日
- ◆ 濃縮排水の排出先
排水は原水の約1.5～1.6倍の濃度となります。
- ◆ 使用場所の気温条件
1号機:5℃～35℃ 2号機:0℃～40℃
※濾過膜が凍結すると装置は使用できません。
- ◆ 原水の水温条件
1号機:5℃～40℃ 2号機:5℃～35℃
- ◆ 装置能力内での運用
(1号機:50m³/日、2号機:50m³/日)
- ◆ 装置を設置する場所までの搬入路を確保する

<確認事項>

- ◆ 電源供給について(発電機など)
商用も使用可能であるが容量等注意
※1号機:200V 60Hz、2号機:220 VAC, 3Phase, 50/60Hz
発電機の給油方法について確認
※定期的な給油ができるようにする
※発電機を設置する場合は、自家用電気工作物の届出が必要になる。
- ◆ 騒音対策
24時間運転のため民家等が近隣にある場合は対策が必要になる。
- ◆ 原水の塩分濃度や異物の有無
※濾過膜の寿命に大きく影響するため、前々処理装置の検討が必要になることもある。

(2) 可搬式浄水装置の積込・輸送

【1号機の場合】

①積込は、機構所有のクレーン付トラックで可能。

②輸送は、機構所有のクレーン付トラックで可能。
※クレーン付トラック3台必要

【2号機の場合】

①積込は、機構所有のクレーン付トラックで可能。

②輸送は、機構所有のクレーン付トラックで可能。
※クレーン付トラック2台必要

確認事項(共通)

- ◆ 搬入路の確保(道幅、高さ制限、重さ制限)
- ◆ 海上輸送の場合(輸送能力、運航日程)
- ◆ 現地で装置を荷下ろし又は設置する設備の確保

(参考)

機構所有のクレーン付トラック

車両総重量: 8,000kg

車両長さ: 7.73m

車両幅: 2.3m



【1号機の積込状況写真(参考:写真は旧装置)】



逆浸透膜処理部の積込



逆浸透膜処理部積込後の荷姿



付属品の積込



前処理部の積込



発動発電機の積込



前処理部積込後の荷姿

【2号機の積込状況写真】



装置の横引き



装置の積込



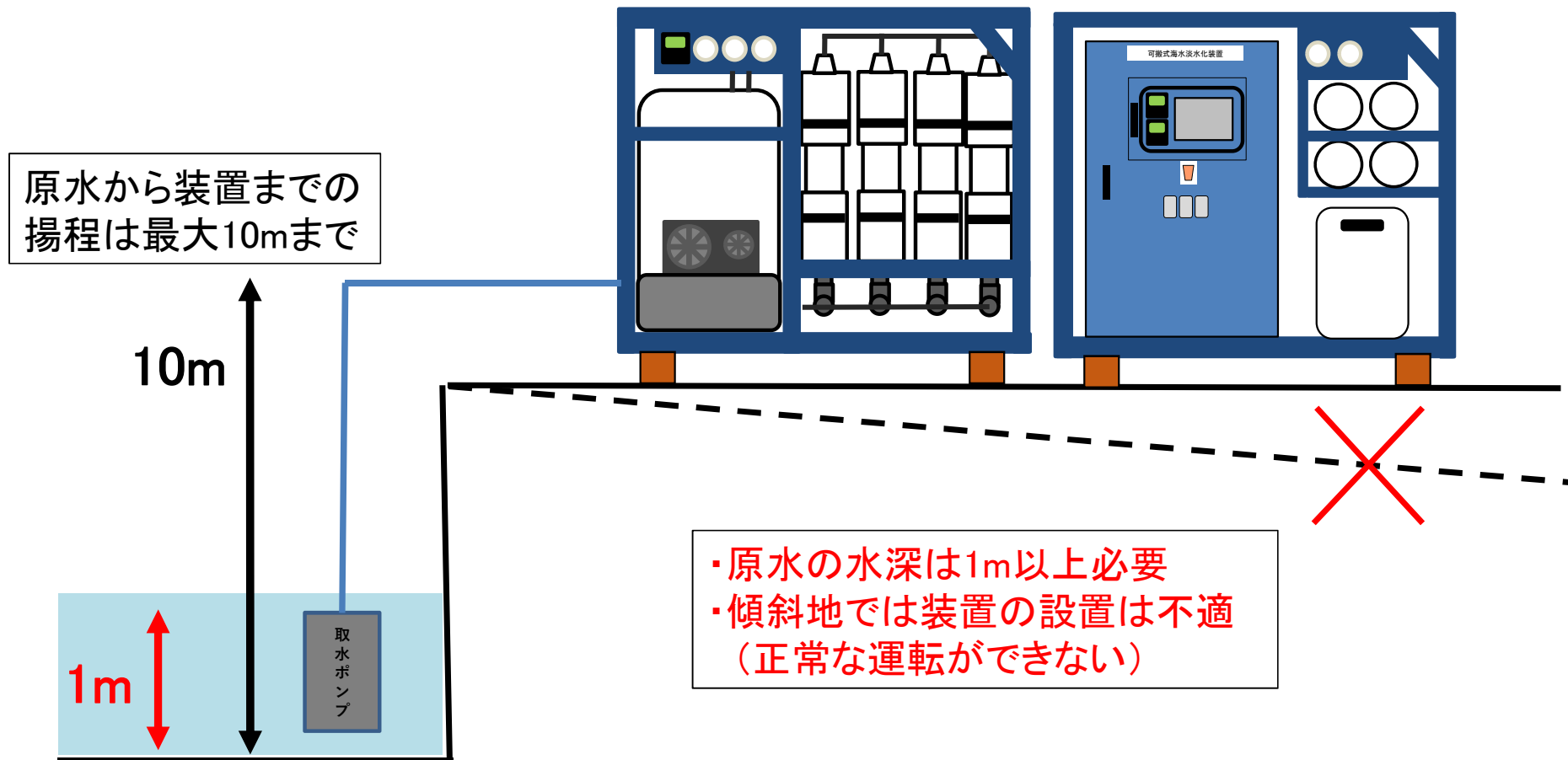
装置積込後の荷姿



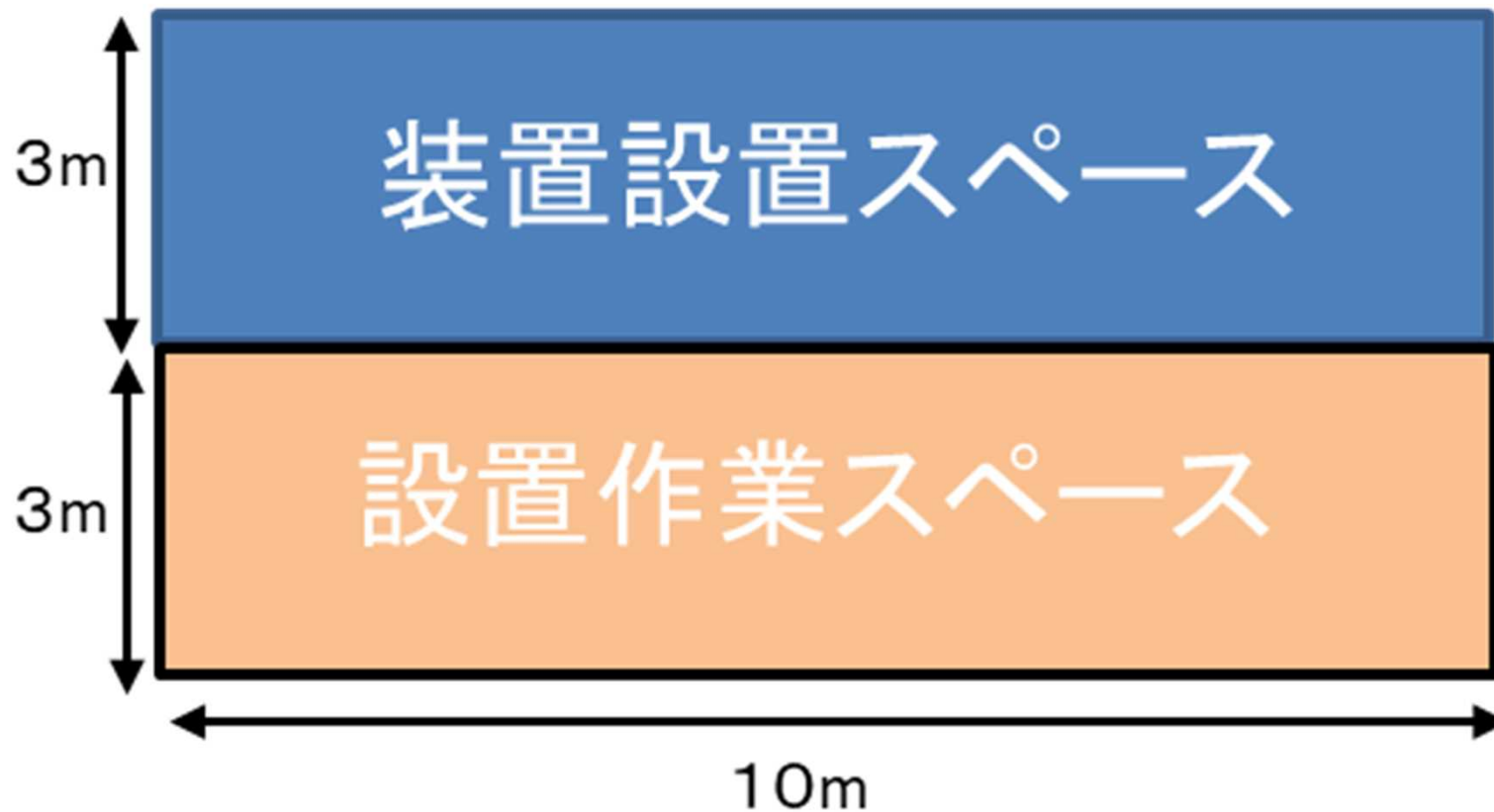
装置積込後の荷姿

(3) 可搬式浄水装置の設置

1号機 2号機 共通



- ・装置設置及び設置作業スペースで約60m²必要



(4) 生産水の供給判断

- ①飲料水として供給する場合は、生産水の水質検査は支援要請された機関で行っていただく。
※「水質基準に関する省令」で規定する水質基準(51項目)

- ②飲料水としての供給判断は、支援要請された機関で行っていただく。
※飲料水または雑用水として利用するか等の判断

- ③塩素処理前の生産水も供給可能
※支援要請機関の浄水場で浄水処理する場合など

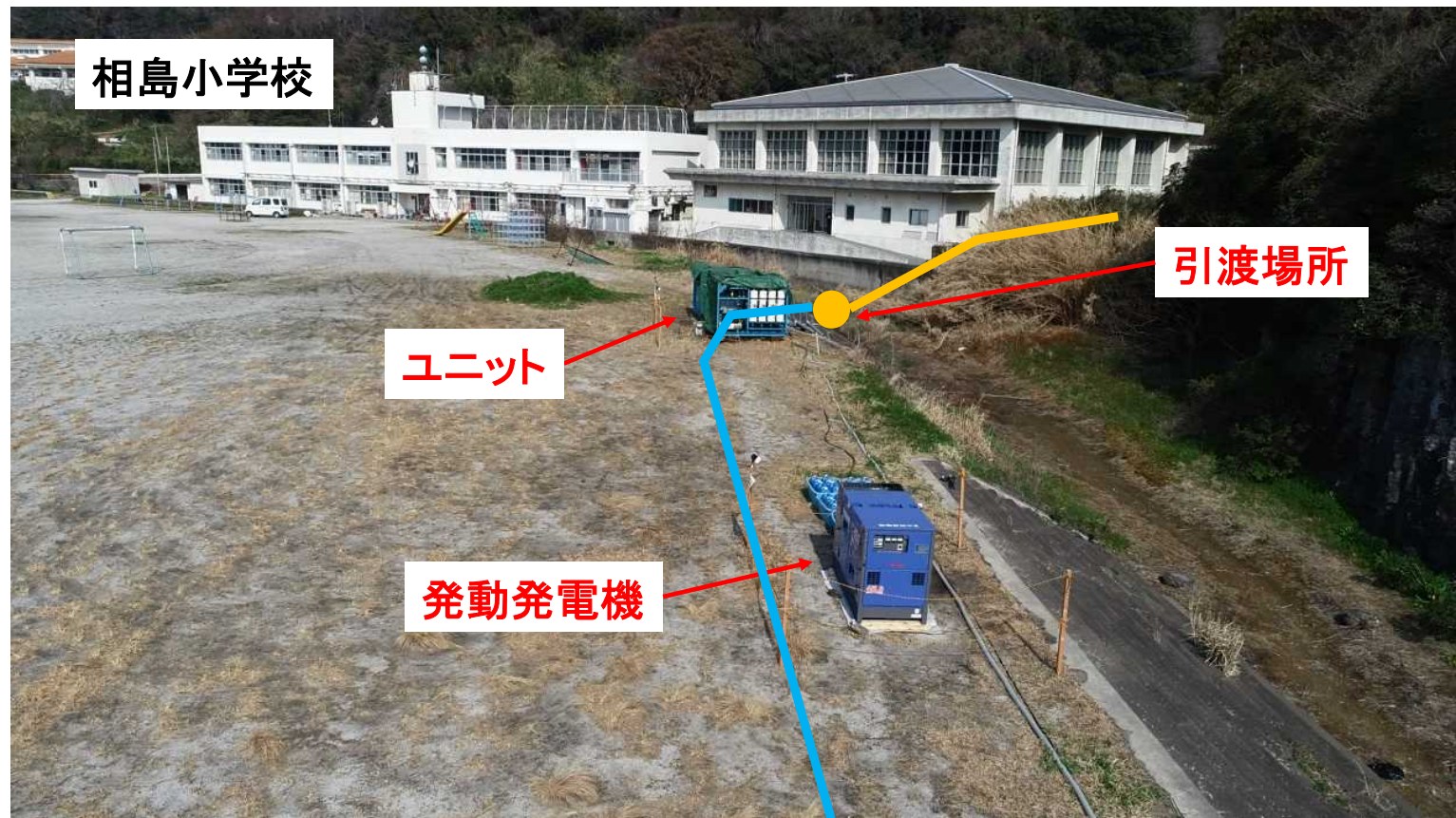


(5) 可搬式浄水装置の設置

【福岡県新宮町相島での例】



【福岡県新宮町相島での例】



【事例】可搬式浄水装置の設置・撤去手順(母島:1号機の設置)

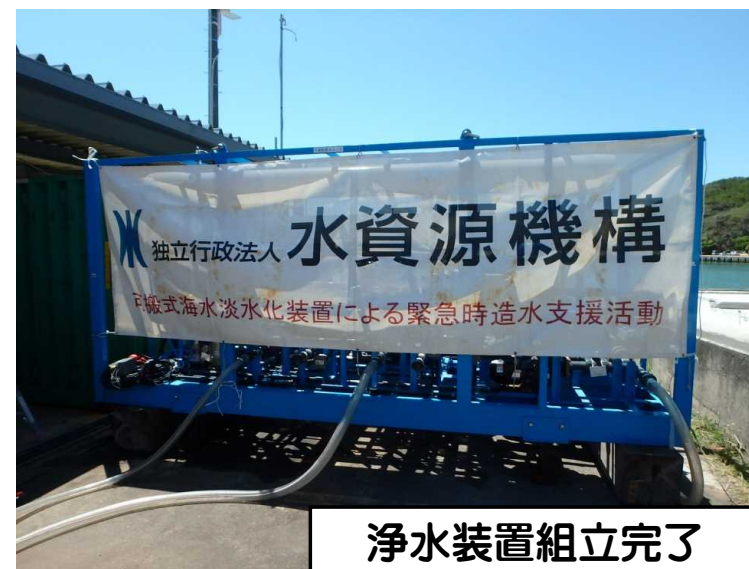
【参考:
写真はい旧装置】



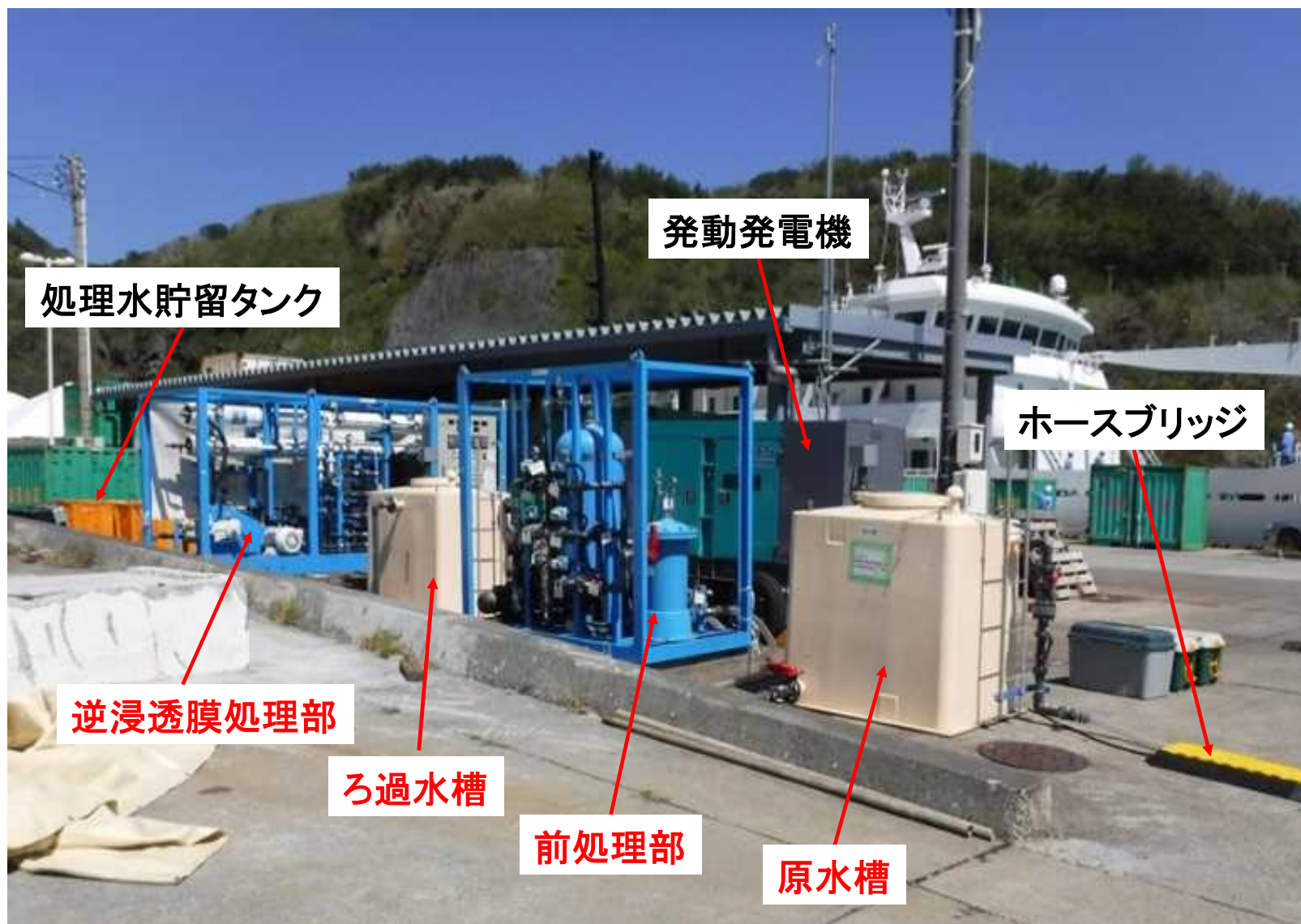
【参考：
写真は旧装置】



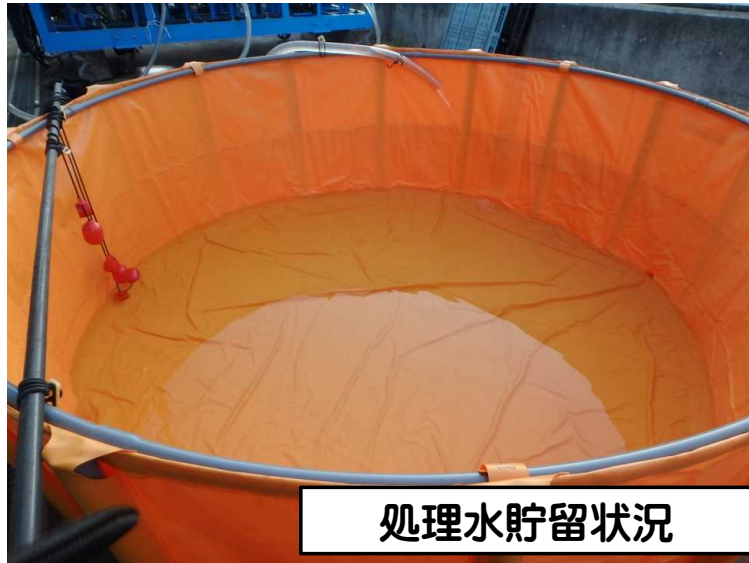
【参考：
写真はい旧装置】



【参考: 写真は旧装置】



【参考：
写真はい旧装置】



【参考：
写真はい旧装置】

